

# 特集

## 「よねざわ元気人」に学ぶ 勇気、チャレンジ、新発想

父は「一人でも世の中を変えることができる」とよく話をしてきた。しかし、上杉鷹山ほど端的に言い表した人はいない。「なせばなる」と。

昨年9月、キャロライン・ケネディ大使は本市に訪れた際、こう述べた。

様々な逆境の中で改革を成功させた鷹山。「なせばなる」の言葉のように、現代の米沢でも独自の発想を持ち、産業界をリードする「よねざわ元気人」がいる。今回は、安部市長も交えて対談した様子をダイジェスト版で紹介！

### 元気人はコチラ！

(写真右から)  
井上 吉昭 さん  
白田 静雄 さん

(写真左から)  
高橋 正利 さん  
後藤 仁 さん

.....  
(中央)  
安部 三十郎 市長



想定しているものより、「おっ」と思わせるものを

精英堂印刷株式会社

代表取締役社長 井上 吉昭 さん

15年程前から製品全てに「水なし印刷」を取り入れた精英堂印刷。水なし印刷は汚水が出ないことから、環境に優しい印刷技術だ。商品を入れる箱などの印刷に、水なし印刷を採用するのは全国でも精英堂印刷1社のみ。

水なし印刷のもう一つ特徴は、高精度な印刷ができること。加工を重ねてもぼけないので、様々な組み合わせによって新しいものを生み出す可能性を秘めている。

この強みを生かして、昨年全日本シーラベル印刷コンテストで経済産業大臣賞を獲得。「デザイン、再現性、加工技術が評価され、社員一同喜んでいます」と井上さん。「お客様が想定しているものよりも『おっ』と思わせるものをつくりたい」と語る姿は、すでに次の「新しいもの」を見つめている。

### 商店主が魅力ある人間に

イタリアンレストラン「リーガル」

店主 白田 静雄 さん

白田さんは、各商店が持つ技を一般の人に教える「まちなかゼミナール」



④



③



①



②

①凹凸のある加工や銀紙への印刷が目を引く精英堂印刷の製品(井上さん)  
 ②愛の兜。今では様々な武将の兜を折り分けている(高橋さん) ③米粉を使った麺はゆで時間が短く、伸びにくいので、業務用の需要も高い(後藤さん) ④「遠山かぶのペペロンチーノ」など米沢の在来野菜を使った新メニューも考案している(白田さん)

に参加している。「お金を取らない、分  
 かりやすい」が特徴で、50講座、約  
 400人が受講している。「商業は何も  
 しないと衰退していく。これをみんな  
 で何とか食い止めなくてはいけないと  
 思い、まずは店を知ってもらうことか  
 ら始めました。店の魅力をいかにして  
 出していくかという事業なんです。」

白田さんは、お店の一押し商品を作  
 る「一店逸品運動」にも参加。「商店  
 主が魅力ある人間になることで、店に  
 も魅力が出る。そのためにも、自分た  
 ちで努力して、新しいことにチャレン  
 ジしていかなくてはならない」という  
 思いがあった。

白田さんは、この運動で米沢の「う  
 こぎ」を使ったポターージュジュレを作  
 った。「まちなか」をより魅力的にしよ  
 うという努力と挑戦はまだまだ続く。

## 異業種との連携で 農業はまだまだ伸びる

株式会社田んぼ花の里季山

代表取締役 後藤 仁さん

米沢では夏は色々な作物が栽培され  
 るが、冬はほとんどない。そのため昔  
 から、冬になると出稼ぎやアルバイト  
 をしなければならぬ農家が少なくな  
 かった。後藤さんはその状況を打開し  
 たくて、「冬でも収入のある作物を」と、  
 冬に出荷できる啓翁桜の栽培を始めた。

最初は上手く作れる自信がなかったが、  
 指導を受けながら試行錯誤を重ね、今  
 では多くの人に花を楽しんでもらえる  
 ようになった。

平成20年には会社を設立。株式会社  
 にしたことも理由がある。農業だけ  
 でなく、異業種の分野にも発展できる  
 メリットがあるからだ。「これからの  
 農業は生産・加工・販売を行う『6次  
 産業』の考えが必要。これを一農家が  
 成し遂げるのは難しいことです。それ  
 よりも異業種との連携を進展させてい  
 けば、農業にもまだまだ伸び代があ  
 る」と後藤さんは語る。

現在、啓翁桜のほか米粉麺の製造・  
 販売に取り組んでいる。学校給食にも  
 採用され、評判も上々。後藤さんの挑  
 戦は一次産業に留まらない。

## 「ありがとう」が やみつきに

愛の兜折り紙ボランティア会

会長 高橋 正利さん

「愛の折り紙兜」は、小さな紙を戦  
 国武将の兜の形に折ったもの。「愛」  
 や「毘」の文字が入った、手のひらサ  
 イズの兜は観光客に大人気だ。

なぜ、高橋さんは折り紙兜のボラン  
 ティアを始めたのだろうか。高橋さん  
 は5年前、「まちあるきガイド」をし  
 ていた。その時、愛の兜の折り方を習

う機会があり、これをお客さんへのプ  
 レゼントにできないかと考えたという  
 そこで、小さなメモ用紙に「愛」の判  
 子を押し、ガイドをしながら、兜を折つ  
 てプレゼントしてみると大盛況。その  
 後、タクシー運転手の傍ら、「おしよ  
 うしなガイド」として観光案内や、「愛  
 の兜折り紙ボランティア会」として兜  
 作りを続けている。「お客さんに差し上  
 げると、財布を広げて、『ありがとう』  
 と言って大事そうにお持ち帰りになり  
 ます。そういう姿を見るうちに、やみ  
 つきになってしまいました」と笑う高  
 橋さん。

昨年、啓翁桜のほかに米粉麺の製造・  
 販売に取り組んでいる。学校給食にも  
 採用され、評判も上々。後藤さんの挑  
 戦は一次産業に留まらない。

高橋さんの「愛」のおもてなし活動は  
 広がりに続けている。



生の声を  
 聞いて  
 ください!

「よねざわ元気人  
 ～未来を拓く4人の挑戦～」  
 をNCVで放送します!

4人のお話をもっと詳しくご紹介します!

▶放送日時(3月) /  
 日曜19時～、月曜13時～、金曜21時～